



主立坑の掘削作業

瑞浪超深地層研究所では主立坑の掘削作業を行っています。2月18日現在では、深さ218.2㍍まで掘削を行いました。



主立坑の深度約215m 地点の坑底の様子



主立坑のスカフォード上から
予備ステージを見た様子

来月の主な作業予定 (3月)

【瑞浪超深地層研究所】

- ①深度100㍍、200㍍の予備ステージでの水平ボーリング孔を用いた地下水の観測
- ②主立坑の掘削作業及び換気立坑の掘削準備作業（グラウト作業）
- ③電流を用いて地下水の流れなどを調べる研究
- ④既存ボーリング孔（MSB-1,2,3,4号孔、MIZ-1号孔、O5ME06号孔）での水圧等の長期観測
- ⑤排水処理設備におけるふっ素、ほう素の除去後の排水継続
- ⑥狭間川における流量観測及び用地周辺井戸での水位観測
- ⑦研究坑道の排水等に伴う環境管理測定
- ⑧表層水理観測（気象観測、地表の傾斜量の観測等）
- ⑨名古屋大学との共同研究（ひずみ計測等）
- ⑩東濃地震科学研究所との研究協力に伴う岩盤の傾斜の長期観測等

【正馬様用地】

- ①既存のボーリング孔での水圧等の長期観測



地層研ニュースに関するご意見・ご要望や瑞浪超深地層研究所の見学のご希望などについては、下記の連絡先までお願いいたします。

【電話】0572-66-2244(代表) 【FAX】0572-66-2124 【メール】tono-ck@jaea.go.jp

《東濃地科学センターホームページ：http://www.jaea.go.jp/O4/tono/index.htm》

東濃地科学センター 地域交流課（栢、川瀬、木内、福島）

総合防災訓練を行いました

2月7日、東濃地科学センターの瑞浪超深地層研究所にて、総合防災訓練を行いました。今回は、「換気立坑スカフォード上のガス検知器でメタンガス濃度が10%を超え警報機が鳴った」「主立坑から避難中の作業員が転倒し負傷した」という2点を想定し行いました。

訓練では、対策本部を立上げ事実の確認や地元の自治体、関係機関、報道機関等への連絡手順の確認を行いました。また、瑞浪市消防本部の協力のもと、立坑内で負傷した作業員への応急処置や救護活動訓練も行いました。



訓練での応急処置の様子

環境保全協定に係る行政検査

瑞浪超深地層研究所では、「瑞浪超深地層研究所に係る環境保全協定書」第2条に基づき排水等の管理・測定を実施しています。これに関して2月4日に自治体による行政検査のための試料採取が行われました。

行政検査は、協定に基づき排水等の管理が適切に行われていることを確認するために定期的に行われているものです。この日は、排水や排出先河川水を採取したり、空間における放射線量の確認、掘削土からの溶出量の確認のための試料採取が行われました。



排水水の採水の様子

瑞浪国際地科学交流館 ミニギャラリー展示案内

瑞浪国際地科学交流館の1階のミニギャラリーでは、「写真展」(仮称)の作品を展示いたします。是非、交流館へ足をお運びください。

また、展示作品の募集も随時行っております。展示は無料ですのでお気軽にお問合せください。

【期間】3月3日(月)～3月31日(月) 10:00～21:00

【場所】瑞浪市明世町山野内字大狭間36-8(入館無料)

【休館日】毎週月曜日(月曜日が祝日又は振替休日でも休館)

《展示に関するお問合せ先》

地層研ニュース表面の連絡先へお問合せください。

瑞浪超深地層研究所を見てみませんか？

瑞浪超深地層研究所の地下を体験する見学会を下記のとおり開催いたします。希望される方は事前申込が必要となりますので、3月13日(木)までに住所、氏名、電話番号をお知らせください。また、申込み多数の場合は締切り前に受付を終了させていただくこともありますのでご容赦ください。なお、見学会は毎月開催する予定です。

【開催日時】平成20年3月16日(日) 9:30～11:30

【対象】小学校4年生以上

(工事現場での安全の確保のため、お子様の場合は小学校4年生以上の方に限らせていただき、保護者の同行をお願いしております。ご協力をお願いいたします)

【申込み先】地層研ニュース表面の連絡先へお願いいたします。

※お知らせいただいた氏名等の個人情報は見学会の目的以外には使用いたしません。

パソコン教習コーナーのご案内

瑞浪超深地層研究所では、パソコン教習コーナーを下記のとおり開催しております。参加希望の方は、日時、人数、お名前を地域交流課までお知らせください。なお都合により日時の変更をお願いすることがあります。

【期間】土、日、祭日を除く平日(9:00～17:00)

【場所】瑞浪超深地層研究所 管理棟 展示スペース

【内容】パソコンの基本操作(1～2時間程度)

【申込先】地層研ニュースの表面の連絡先へ電話またはFAX、メールでお問合せください。

※お知らせいただいた氏名等の個人情報はパソコン教習コーナーの目的以外には使用いたしません。

「瑞浪超深地層研究所に係る環境保全協定書」 第2条に基づく排水水等の測定結果(平成20年1月分)

【採取日：平成20年1月15日】

単位：mg/ℓ(水素イオン濃度はpH)

測定項目	管理目標値	工事排水	狭間川下流	※1 立坑の湧水	※2 狭間川上流	※3掘削土の 溶出量(主立坑)	※3掘削土の 溶出量(換気立坑)
水素イオン濃度	6.5～8.5	7.0	7.2	9.8	7.6		
浮遊物質	25以下	1未満	1未満		1未満		
カドミウム	0.01以下	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	
全シアン	検出されないこと	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	
有機燐化合物	検出されないこと	検出されず					
有機燐	検出されないこと					検出されず	
鉛	0.01以下	0.005未満	0.005未満	0.006	0.005未満	0.005未満	
六価クロム	0.05以下	0.04未満	0.04未満	0.04未満	0.04未満	0.04未満	
砒素	0.01以下	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	
総水銀	0.0005以下	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	
アルキル水銀	検出されないこと	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	
PCB	検出されないこと	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	
トリクロロフル	0.03以下	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	
テトラクロロフル	0.01以下	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	
四塩化炭素	0.002以下	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	
ジクロロメタン	0.02以下	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	
1,2-ジクロロエタン	0.004以下	0.0004未満	0.0004未満	0.0004未満	0.0004未満	0.0004未満	
1,1,1-トリクロロエタン	1以下	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	
1,1,2-トリクロロエタン	0.006以下	0.0006未満	0.0006未満	0.0006未満	0.0006未満	0.0006未満	
1,1-ジクロロフル	0.02以下	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	
1,1,2-ジクロロフル	0.04以下	0.004未満	0.004未満	0.004未満	0.004未満	0.004未満	
1,3-ジクロロベンゼン	0.002以下	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	
チウラム	0.006以下	0.0006未満	0.0006未満	0.0006未満	0.0006未満	0.0006未満	
シマジン	0.003以下	0.0003未満	0.0003未満	0.0003未満	0.0003未満	0.0003未満	
チオベンカルブ	0.02以下	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	
ベンゼン	0.01以下	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	
セレン	0.01以下	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	
硝酸性窒素及び 亜硝酸性窒素	10以下	0.5	0.3	0.05	0.3		
ふっ素	0.8以下	0.3	0.1未満	9.3	0.1未満	0.1	
ほう素	1以下	0.36	0.08	1.3	0.02未満	0.02未満	
塩化物イオン	—			100			
アモニア、アミン化合物 及び硝酸化合物 及び硝酸化合物	—	0.39					

【測定期間：12月20日～3月末日】

花木の森散策路 における空間放 射線線量率	参考値	測定結果
	測定中 周辺地域の空間放射線 線量率と同等※5	測定中 3ヶ月の集積空間放射 線線量率※6から算出

※1 立坑の湧水の値は排水処理によりふっ素・ほう素を除去する前の湧水の値です。排水処理後、狭間川へ排水します。
※2 狭間川上流は排水が流れない場所での排水のため、値は狭間川の河川の値となります。
※3 掘削土の溶出量は排水処理プラントの運転の参考、河川上流は河川状態の把握等のため測定しています。
※4 注意：は参考値
※5 測定中
※6 3ヶ月の集積空間放射線線量とは3ヶ月間の空間における放射線の量を1時間あたりで表した値。